

【統合分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
在宅看護概論	1	30	1	2学期	非常勤講師 専任教員
授 業 の ね ら い					
在宅看護の意義と役割について理解し、在宅で療養する対象とその家族の特徴、生活環境について学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1*	1. 在宅看護とは 2. 訪問看護とは 3. 在宅看護の歴史と社会背景 1)人口構成の変化 2)国民の価値観 3)療養の場 4)社会保障費 4. 在宅医療・介護に関する仕組み 5. 疾病や障害を抱えた人の社会参加				
2	6. 在宅看護の目的と特徴 7. 在宅チームケアの意義 8. 在宅ケアの目的 9. 在宅ケアにおける看護の特徴				
3	10. 在宅看護の対象と健康レベル、生活 11. 生活の場の種類、生活様式と価値観 12. 在宅における安全管理と支援 13. 地域包括ケアシステム 14. 地域で療養する人を支える環境・保健・医療・福祉				
4*	15. 訪問看護を規程する法律 1)介護保険制度				
5	16. 訪問看護サービスの仕組みと提供 17. 訪問看護ステーションの設置基準 18. 訪問看護サービス開始までの流れ・展開・質保証				
6*	19. 在宅看護における倫理、対象者の権利擁護 1)アドボカシー 2)成年後見制度				
7	20. 家族の定義、機能 21. 家族発達理論、家族システム論 22. 介護負担の要因とその軽減				
8	23. 意思決定支援				(45分)
9	24. 在宅看護の実際 1)継続ケア 2)看護 25. 地域アセスメント				
10	26. 訪問看護サービスの実際 1)訪問看護の実践例				
11	2)在宅療養の条件・訪問看護の実際 訪問看護過程の特徴と実際				
12	27. 家族と在宅看護 1)ケア方法の指導 2)介護者の健康 3)家族のニーズ 4)レスパイトケア				
13	28. 在宅看護過程の演習 29. 家族と在宅危機				(演習)
14	30. チームケアの実際(多職種連携)				
15	31. 理想的な在宅ケアシステム 32. 訪問看護制度の課題				
16	試験				(45分)
授業形態		講義および演習			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 家族看護学 理論と実践 日本看護協会			
その他		*必要に応じてオンライン授業対応			

【統合分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
在宅看護の基礎	1	15	2	1学期	看護師 専任教員
授 業 の ね ら い					
在宅看護におけるケアプランの作成を通して、健康障害やそれに伴う生活障害をもつ対象者の個々の価値観や生活様式をふまえた看護について学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 訪問看護過程の特徴 1) ケアマネジメント・ケースマネジメントの概念 ・在宅看護における援助関係の基本 ・在宅ケアとインフォームドコンセント ・在宅ケアマネジメント				
2	2) ケアプランとは 3) 福祉サービスの利用方法と紹介 (バリアフリーへの住宅改装を含む)				
3	2. ケアマネジメント・ケースマネジメントの過程 療養者及び家族の願い 療養者及び家族からの情報収集・分析 療養者及び家族の在宅看護での問題の抽出				
4	3. 在宅療養にむけた多職種連携の実際				
5	4. 看護計画（ケアプランの作成）の立案 援助目標・看護計画の立案				
6	5. ケアプランの実際				
7	6. ケアプランの評価				
8	試験				(45分)
授業形態		講義および演習			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版 家族看護学 理論と実践 日本看護協会			
その他					

【統合分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
在宅看護援助論	1	30	2	2学期	非常勤講師 看護師 理学療法士
授 業 の ね ら い					
在宅で療養する人とその家族への対応と、看護技術の応用や物品を工夫した援助の実際について学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1.ターミナルケア DVD「最後の願いをかなえたい」 レポート課題～松本氏の事例を通して				
2	2.グループワーク（レポートを元に）発表 ①死生観を含む個人の感想②Nsとして③その他 ④話し合ったことの感想				
3	3.療養者の死を支える看護 DVD「老衰死」「ALS」-命の選択-				(グループワーク)
4	4.ターミナルケアにある療養者の看護				(グループワーク)
5	5.在宅中心静脈栄養法（HPN）を行う療養者の看護				(学校DVD・資料・カタログ)
6	6.療養者の死を支える看護 ペインコントロール(麻薬の取り扱い)				
7	7.療養者の死を看取る家族への支援 1)死後の処置 2)死を迎える家族への看護 3)グリーフケア				
8	8.褥瘡の発生機序 9.褥瘡のリスクアセスメント				(45分)
9	10.ずれ・摩擦の予防 11.体圧分散用具 12.創傷治癒過程				
10	13.褥瘡の分類 DESIGN-R(褥瘡経過評価) 14.褥瘡の治療・ケア栄養管理				
11	15.人工肛門（ストーマ）造設者への看護 1)ストーマの種類 2)術前・術後ケア、合併症予防、生活指導 (社会復帰のケア) 3)社会福祉制度				
12	16.リハビリテーションの概念 17.障害の概念とアプローチ 18.リハビリテーションの職種 19.基本的動作とADL 20.在宅リハビリテーション（社会資源の活用と調整を含む）				
13	21.援助の実際 1)ポジショニング 2)寝返り・起き上がり（畳からの起き上がりの援助）・立ち上がり・移乗				(演習)
14	3)車椅子・松葉杖・杖の使い方				(演習)
15	22.拘縮とは 23.関節可動域の計測 24.ROMとADL 25.治療 26.自立歩行に必要な筋力評価と強化方法				
16	試験				(45分)
授業形態		講義および演習			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版 家族看護学 理論と実践 日本看護協会 系統看護学講座 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ 医学書院			
その他					

【統合分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
在宅援助論演習	1	30	2	1学期	非常勤講師 看護師
授 業 の ね ら い					
事例を通し、在宅療養中で日常生活援助や医療処置の必要な人とその家族の理解や看護の方法を学び知識の統合を図る。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. サービス利用の実際 DVD「新.在宅介護を始めるために」 2. 接遇技術				資料：医歯薬出版「在宅看護論」
2	2. 接遇技術 初回訪問の実際				(演習)
3	2. 接遇技術 初回訪問の実際				(45分)
4	2. 接遇技術 事例を通して考える 3. 環境整備				
5	4. 訪問入浴の実際				
6	5. 清潔援助 看護用具の工夫 6. 在宅での膀胱留置カテーテルの管理				
7	7. 退院支援と退院調整における職種とその役割 1) 入退院に関する患者家族の意思決定支援 2) 退院支援調整のプロセス 3) 患者・家族の意思決定支援 4) 地域連携パスの理解、 5) 外来・地域連携部門との看看連携、他職種との連携・協働				
8	8. 呼吸器疾患患者の看護と呼吸理学療法				
9	9. 在宅酸素療法中の患者の看護				
10	10. 在宅療養を希望する患者の看護 (事例展開) 11. 在宅援助論 (社会保障と社会制度)				
11	12. ALSとは 1) 症状 2) 性差・発症年齢 3) 診断 4) 患者の状態のアセスメントと援助 (対応・調整) 5) 社会資源の活用 6) 告知について 7) 在宅での急性憎悪の早期発見と対応				
12	8) 意志決定・自己決定・家族支援 9) NIPPVについて (篠澤秀夫氏のDVDを視聴し、映像にて理解する)				
13	13. 人工呼吸療法者の注意すべき点 1) 人工呼吸器管理 2) 気管切開の管理 3) 気管内吸引				
14	14. コミュニケーションについて 意思伝達装置・環境制御装置 DVD「命をめぐる対話～暗闇で生きていますか～」				
15	15. 胃瘻 (PEG) の管理 16. ALS協会について				
16	試験				(45分)
授業形態		講義および演習			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版 家族看護学 理論と実践 日本看護協会			
その他					

【統合分野Ⅱ】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学 期	担 当 者
看護管理	1	15	3	1学期	看護部長
授 業 の ね ら い					
看護管理の定義・原則を理解し看護活動と組織および医療安全に必要な考え方を学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 看護管理とは 1) 看護管理の歴史 2) 看護管理者の仕事 2. 看護管理の機能と役割				
2	3. マネジメントに必要な知識と技術 1) 組織とマネジメント 2) リーダーシップとメンバーシップ				
3	4. 患者の権利の尊重 1) 安全管理 2) 組織としての安全管理 3) 情報管理				
4	5. 看護の質の保証へのマネジメント 1) 看護サービスとは 2) 組織目的達成・協働 3) 医療におけるサービスの質の評価				
5	6. チームアプローチ 1) 看護サービスの担い手とチーム医療 2) チーム医療（他職種との協働） 3) 保健医療の機能分化と連携				
6	7. 看護をとりまく諸制度 1) 看護の定義 2) 看護実践の領域と場 3) 医療制度 4) 看護行政の仕組み				
7	8. 看護単位の機能と特徴 1) 人事労務管理 2) 物的資源管理 3) 組織の調整 4) 組織と個人				
8	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		系統看護学講座 看護の統合と実践 [1] 看護管理 医学書院			
その他					

【統合分野Ⅱ】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
医療安全	1	15	2	2学期	看護師 専任教員
授 業 の ね ら い					
医療安全を確保するためのヒューマンエラーのメカニズムを理解するとともに倫理的判断に基づいた行動、安全を保障する知識と技術を学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 医療安全の概念 1)安全とは、医療安全とは 2)医療安全の歴史的背景 3)人間の行動とヒューマンエラー 4)医療事故防止対策 5)看護業務にかかる看護師の法的責任				
2	2. 患者と医療者の安全・安心の確保 1)医療安全対策と医療の質 2)紛争化の防止				
3	3. 医療事故の実際と対策、法律、事例				
4	4. 看護学生の実習と安全 1)実習中に起きやすいインシデント 2)事故発生時の対応 3)実習における医療事故の法的責任 4)事故分析の考え方と具体的な方法(RCA分析)				
5	5. RCA分析の実際				(演習)
6	6. 看護技術（日常生活援助技術）のリスクと安全				(演習)
7	7. 看護技術（診療補助技術）のリスクと安全				(演習)
8	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験および演習 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践(2) 医療安全 メディカ出版			
その他					

【統合分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
災害医療	1	15	3	1学期	医師 看護師
授 業 の ね ら い					
日本を含め世界各国の災害や健康問題を把握し、それらの問題に対する看護について基本的知識を理解し、災害時の看護が果たす役割や世界各国の看護支援活動を学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 災害医療総論 1) 災害の歴史と定義 2) 災害の種類と特徴 3) 災害医療の目的・特徴 4) 災害対応の基本原則（トリアージ） 5) 災害医療体制と組織間・職種間の連携（情報伝達態勢）				
2	2. 災害看護学 1) 災害看護の基礎知識 定義と役割、対象、特徴と看護活動、必要な情報 災害看護活動におけるアセスメント 災害看護場面におけるジレンマ				
3	3. 災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 ①急性期・亜急性期②慢性期・復興期③静穏期 4. 被災者特性に応じた災害看護の展開 子ども・妊産婦・高齢者・障害者・精神障害者 慢性期疾患患者・在留外国人				
4	5. 災害とこころのケア 1) 災害がもたらす精神的影響 2) 災害によるこころのケアとストレスマネジメント				
5	6. 病院における災害医療・看護 1) 病院における災害への備え、 2) 災害時の初動体制 3) 災害訓練の体験から医療者に求められる姿勢 7. 災害活動の実際 1) 災害時の大阪医療センターのDMAT・初期医療班の活動内容				
6	8. 病院における災害対応・備え 1) 災害医療棟・備蓄庫見学				
7	9. 国際看護学 1) 国際看護学とは 2) グローバルヘルス 3) 国際協力のしくみ 4) 開発協力と看護 5) 国際救援と看護				
8	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		系統看護学講座 看護の統合と実践③ 災害看護学・国際看護学 医学書院			
その他					

【統合分野Ⅱ】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
看護技術総合演習	1	15	3	1学期	専任教員
授 業 の ね ら い					
看護実践に必要なアセスメントを活用し、安全を確保した看護技術の実施を学ぶ。看護実践において重視される看護の優先度を判断した行動、事例や場面に応じた適切な援助を客観的臨床能力試験および学内演習と通して習得する。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 看護ケアの実際 1) 1日の業務の組み立て方 2) 優先順位の決定の考え方 2. 症状の観察・アセスメント (フィジコ)				(演習/リフレクション)
2	3. 観察と確認				(演習/リフレクション)
3	4. フィジカルアセスメント				(演習/リフレクション)
4	5. 症状出現時の観察と対応①				(演習/リフレクション)
5	6. 症状出現時の観察と対応②				(演習/リフレクション)
6	7. 転倒時の対応				(演習/リフレクション)
7	8. 症状出現時の観察と対応③				(演習/リフレクション)
8	9. OSCE				(45分)
授業形態		演習 (シミュレーション)			
評価		OSCE 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		系統看護学講座 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 系統看護学講座 看護管理 看護の統合と実践1 医学書院			
その他		全て演習であり、異なる事例であるため必ず事前学習をして臨むこと			